

やまなし 日本語教育プログラム

やまなし 日本語教育プログラム【理念】

「多様な価値観を認め合い、誰もが自分らしく活躍できる共生社会」の実現を目指す

目的

主体的で深い学びの実現

→ 学びと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的自立に向けて必要な基盤となる能力を身につける

自己実現及び他者との協働の重要性の認識

→ 自己の存在感を実感しながら、よりよい人間関係を形成し、有意義で充実した地域生活を送る中で、現在及び将来における自己実現を図る

目標

日本語による言語活動を通じて、地域社会で豊かに生きるための言語能力を身につける

- ① 日常生活に必要な日本語について、その特性を理解し、適切に使うことができる
- ② 聞くこと、読むこと、話すこと（発表、やり取り）、書くことを通して、他者に配慮しながら自分の考えや気持ちなどを伝え合ったり、生活に必要な情報を理解するための基礎的な日本語能力を身につける
- ③ 聞くこと、読むこと、話すこと（発表、やり取り）、書くことに加え、言語活動におけるストラテジーも活用して円滑なコミュニケーションをとるための運用能力を身につける
- ④ 言語活動を通じて、他者が持つ多様な文化や背景、地域生活における文化や習慣への理解を深める
- ⑤ 教室で学んだことを自分の生活につなげ、主体的、自律的に日本語の学びに取り組むことができる

実践で大切にしたい5つのこと

自己実現	参加者それぞれの自己実現につながるようなことばの活動を行う
双方向コミュニケーション	相互に理解し合うための双方向コミュニケーションを重視したことばの活動を行う
課題発見 課題解決	日々の生活や仕事をする上での様々な発見や気づきと、参加者自身の課題解決に結びつくことばの活動を行う
対等な関係性	他者との協働を通して対等な関係性の構築につながるようなことばの活動を行う
主体性 自律性	参加者がともに自分たちの手でつくりあげ、つながりを育むことができることばの活動を行う